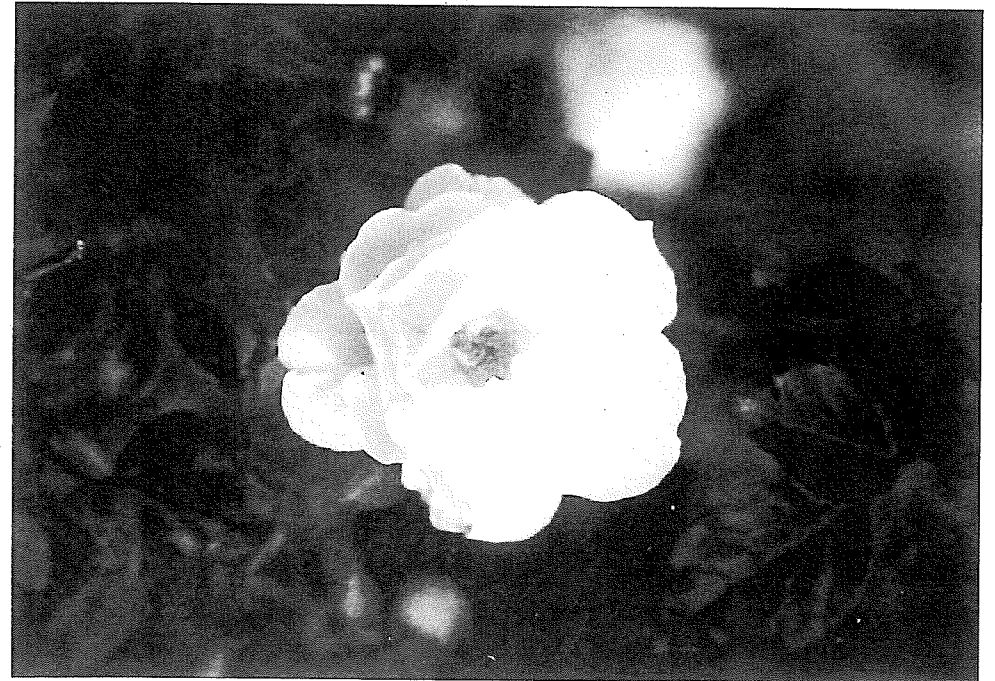


川柳 さいたま



齢 YSINIJY

願法みつる

歯科医院の看板に「齒」の字を見つけた。「人」の字を四つ並べてある。巫山戯た当て字かと思つたら、漢字典では十五画の最後に説明があつた。口の中に「は」の並ぶ象形であり、転じて「よわい」となつたとか。常用漢字の「齒」は省略形である。年齢という字には確かに齢が付いている。齒の生え具合で「とし」が判るからだといふ。年齢とは年齢のこと。

齒にはまた年齢順や仲間という意味もある。齒次・齒序・齒長・朋齒など。成る程、良い勉強になつた。

干支の馬の年を表す馬齒・馬齡という言葉が身に馴染むこの身には、威風堂々のニンゲン様、同輩が神々しいばかりなのである(残念ながら本音である)。

しかし馬にも様々な馬生(人生)があつて、常緑の草原で安穩に仲間と暮らせる生涯は、少ないようだ。驚き騒ぐという字に馬がある通り神経質なのだろう。であるならば、此処は年と体力を表す齒力に鑑みて、馬齡を重ねても馬耳東風を決め込むに如かずか。

齢と言うも所詮は天命。老いてゆく己の齒と人生の仲間を労りながら仲良く生きて行きたい。切齒扼腕などと齒軋りすれば、齢もすり減るだけである。

四月号 目次

わたしの好きな句 堀江太田史	表紙 2
巻頭言 齢ということ	願法みつる
彩玉集——同人吟	2
古丘の世界	文・今村 寿子 5
平成二十五年美江賞発表	6
雑詠	願法みつる選 16
映像川柳	石田 正則 16
七七句	松田重信選 24
埼玉川柳社新役員名簿	27
交替鑑賞	安西まさる 28
初歩添削講座「甘受」雑詠	加藤孤太郎 34
題詠 「機 会 紙 とよ子 選	
「下 る」 永井 麻男 選	
「けらけら」 伊藤三十六 選	36
さいたま四月句会	
編集さろん	表紙 3
句会案内	表紙 4
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)	

平成26年

5 月号 (No.654)

日川協加盟